

消防団たずね歩き

「平野支団の歴史」

昭和 22 年 3 月 1 日、明石郡平野村が神戸市に合併し垂水区に編入され、同年 10 月神戸市消防団条例の公布を受け、同年 11 月平野消防団が発足しました。

この地域は、明石川の両岸に沿ってひらかれた町で、西神地域のなかでもかなり早く開けた地域であり、弥生時代の遺跡も確認されています。その昔は農業が盛んで、質のよい農産物を供給し、特に土質にあった「明石西瓜」は有名で、地域の特産物として市場に出荷していました。現在では、稲作や軟弱野菜、カーネーション栽培等が行われる都市近郊型の農業地域であり、西神ニュータウンの開発に伴う公共施設の設置や、幹線道路やアクセス道路の整備が進められています。

「消防操法大会」

昭和 61 年第 11 回兵庫県消防操法大会小型ポンプの部に出場し優勝しました。

平成 10 年第 1 回神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会に出場し優勝しました。

平成 30 年第 27 回兵庫県消防操法大会小型ポンプの部に出場し 4 位入賞しました。

「最後に」

令和 6 年 11 月に平野支団第 2 分団下福班の詰所兼器具庫が新しく建て替わりました。引き続き、「自分たちのまちは自分たちで守る」という気持ちを忘れず、活動していきたいと思えます。

平野支団本部 分団長 戸田 誠一郎

分団長 山口 善計

